

〔賛成〕本市では、快適な市民生活の向上を図るため、公共下水道事業及び農業集落排水事業の社会資本整備に努めている。これらの事業は、一般会計から繰り出しをもって特別会計で進めているが、一般会計からの繰り出しは下水道の恩恵を受ける市民に限られていくことから、これまで適正な予算措置で対応していると確信している。しかし、総務省では高資本費対策の要件を改め、平成18年度の使用料単価1立方メートル当たり150円を越えなければ対象外とすることになった。このことから今後の事業推進を見込むとともに、市民の負担を極力抑えた使用料改正が提案されたと思っっている。今回の条例改正がなく高資本費対策の補てんがない場合には、一般会計への影響は極めて大きいため回避する必要がある。よって、本案に賛成する。

◎第121号議案・平成17年度白石市一般会計補正予算(第5号)

〔反対〕第1の理由は、沖の沢郡山線街路事業に係る一般財源の減額と、それにかかる起債である。一般に借金が有利だなどという現象は、経済が成長しているときのバブルのような特殊な経済政策がとられているときだけである。ほとんどの自治体が、有利な借金をし交付税で返済しようと計画していたのに、その交付税がどんどん削減されて青息吐息の状況である。今後ますます税収が減少する中で、その中の借金の返済であるからその負担は重く、市の財政も市の経済活性化にも恐らくマイナスに働くことと思う。第2の理由は、都市整備基金繰入金を減額したことである。都市整備基金の積立金がどのくらいあればよいのか不明のままである。また、キューブの池の給水設置として井戸を掘り、上下水道料金やその値上げに対応していくという、井戸を掘れない市民にどう説明したものか釈然としないところである。

よって、本案に反対する。

〔賛成〕本市では、快適な生活



活を営むための下水道整備事業、高齢化社会に対応した救急救命を担う沖の沢郡山線の都市基盤整備に努めている。これらの施設は多年にわたり使用することから、今住んでいる市民だけが費用を負担するものではなく、将来の市民にも公平に負担していただくことが当然だからである。これが、「世代間の負担の公平」である。また、地方債を活用することにより年度当初において都市整備基金を取り崩し、一般財源化している財源を都市整備基金に戻すことは、今後の財政上に備えることとして極めて好ましい限りである。よって、本案に賛成する。

12月 定例会 日程

7日(水)	本会議 開会 諸般の報告(議長) 市行政報告(市長) 会期の決定 主要幹線街路等建設促進特別委員会の中間報告
9日(金)	本会議 議案〔条例・予算〕質疑 常任委員会付託〔条例〕 予算審査特別委員会設置・付託 説明 第117号議案から第123号議案〔条例・予算〕 説明、質疑、討論、表決
12日(月)	予算審査特別委員会審査
14日(水)	常任委員会審査 本会議
16日(金)	一般質問(5名) 本会議
19日(月)	一般質問(4名) 本会議
21日(水)	本会議 議会改革調査特別委員会の報告 議案〔条例・予算〕各委員長報告、討論、表決 議員派遣の件 議提第16号から議提第18号〔意見書〕説明、表決 閉会